



美郷町比之宮地区

交流拠点から広がる助け合いの輪

比之宮地区では、「ふれあって花の咲く 安心の比之宮里山づくり」というキャッチフレーズのもと、地域の交流拠点を核に、高齢者等の移動手段の確保や生活の困りごとを支援する助け合いの仕組みづくりを進めています。また、関係人口や移住者の獲得に向けて、都市部大学生との交流事業や地域資源を活用した産業づくりなど住民主導で地域を盛り上げる取組も活発です。

これまでの地区のあゆみ

- H16 「比之宮連合自治会」を設立
美郷町では平成の合併にあわせ、地域づくりの核となる新たな自治組織「連合自治会」を設立
- H22 全国に先駆けて地域おこし協力隊を連合自治会に配置
(※令和3年までに11名の隊員を迎え、休耕田等を活用したホンモロコシの養殖やポポーの栽培・商品開発等の取組を実施)
- H27 「地域コミュニティ計画」を策定
- H28 県の現場支援地区に選定 (H28.12~H30.3)
「比之宮小さな拠点づくりプロジェクトチーム」を発足
- H30.4 高齢者の集いの場「ひめのみや楽級」がスタート

- H30.5 「ひめのみやふれあい号」の運行開始

- H30.12 「比之宮除雪隊」を結成
- H31.1 「たすけあい比之宮」がスタート

Step 小さな拠点づくりのステップ

step.1 課題 危機感の共有

連合自治会の設立以降、子どもから高齢者まで誰もが参加できる交流の場づくりを目指し、盆踊りやふれあい祭りなど年間10以上ある地域行事を継続してきました。しかし、この30年で人口は約4割減少し、地域行事のみならず地域の存続自体に大きな危機感を抱くようになりました。

step.2 計画 地域の将来像を描いて

連合自治会を中心に、暮らしに踏み込んだ課題についても話し合いを重ねることで、将来の担い手確保や生活交通対策など比之宮での暮らしを住民同士で支え合うための仕組みづくりが必要だと認識を新たに。この先も地域で安心して生活していくための将来像を描いた「地域コミュニティ計画」を策定しました。

step.3 体制 課題解決に向けたプロジェクトチームを発足

地域の課題解決のための実行部隊として、地区内の各種団体のキーマンを中心に構成された「比之宮小さな拠点づくりプロジェクトチーム」(以降、「プロジェクトチーム」という)を連合自治会内に発足。さらに、その中に各部会を立ち上げ、地域だけで進めることが難しい部分は専門家や行政による助言も得ながら、具体的な活動計画づくりに取り組みました。



step.4 実践 暮らしに寄り添い、支え合える仕組みづくりへ

「比之宮にあった形で、無理なく取り組める方法で、それぞれ単独で事業を進めるのではなく、「合わせ技」により、公民館(交流センター)などに人が集える仕組みと連動させたい。」という思いから議論を重ね、地区内の交流センターを拠点とした交通の仕組みづくりや高齢者等への生活支援の取組をスタートさせました。

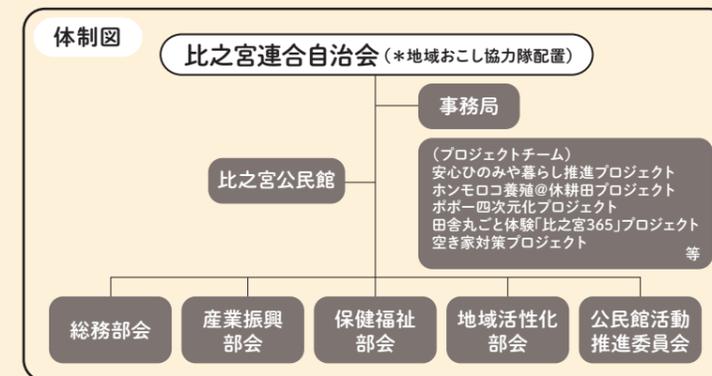
step.5 発展 新たな地域人材の取り込みを目指して

今後も高齢化や地域の担い手不足が懸念されるなか、関係人口や移住者の獲得に向けて、交流事業の拡充や地域内にある空き家を活用した田舎体験プログラムづくりなど、新たな取組を検討しています。



- 町役場・支所 ● 公民館等 ● 教育機関等
- 医療機関 ● 買い物施設 ● ガソリンスタンド

- 人口 224人(高齢化率 58.9%)
- 地域の特徴 ・森林面積89%、田畑面積5%を占め、寒暖差が大きい地域
- ・美郷町中心部までは車で約30分の距離にあり、地域内に商店や学校はない



Pick UP 私たちのやり方 Our Project



交流拠点⇄家、住民の移動手段・交流機会の確保 交通空白地有償運送 「ひめのみやふれあい号」

サロンや公民館講座等の地域活動への参加や、診療所機能を有した地域の拠点施設である比之宮交流センターへの移動手段を確保するため、比之宮連合自治会において交通空白地有償運送を実施しています。運転手は講習を受けた19名が交代で担い、事前予約のあった利用者の自宅と拠点施設との間を、1回100円で送迎します。

まちのひとの声  サロンへ行く際に利用
自宅が山のほうにあるので、交流センターまで送迎してもらって、とても助かっています。

step.1 課題

地域内にはタクシー事業者が無く、住民アンケート等でも移動に困難を抱える高齢者等の声が寄せられていました。特に地域の拠点施設である比之宮交流センターへの交通の便が悪く、連合自治会において移動手段の確保に向けた検討を開始しました。

step.2 計画

プロジェクトチームのメンバーを中心に、交通弱者のニーズ把握や、他地域への視察を実施。安全面の担保や自主財源の確保により、持続的な取組とするため有償の方法を選択し、実施に向けた話し合いを重ねました。



step.3 トライ

町からの貸与により車両を確保し、住民説明会や運転手講習会等を経て、平成30年より運行をスタートしました。週1回の診療所への通院やサロンへ参加する高齢者が主に利用し、地域内の移動の利便性向上につながっています。

step.4 これから

運転手の確保に向けて、地域へ協力の呼びかけを続けています。また、今後この仕組みを活用した買い物支援にも取り組みたいと考えています。

高齢者等の日常の暮らしの負担を軽減するしくみ

生活の困りごと支援 「たすけあい比之宮」

地域の高齢者を対象に、「ちょっと手を貸してもらったら助かるな」といった日常生活上の簡易な作業を、地域ボランティア会員約15名がお手伝いしています。依頼者が気兼ねしないよう有料(30分100円)とし、草刈、電球交換、窓拭き、見守りなど、要望に応じて幅広く暮らしをサポート。地域の高齢者から頼りにされています。



冬季の除雪支援 「比之宮除雪隊」

平成30年に「比之宮除雪隊」を結成し、現在約10名の隊員で活動中です。住民の要望があれば有料により依頼者の自宅周辺の除雪作業を実施しています。

